

岩盤ボーリング柱状図

調査名 一般国道191号道路災害防除工事に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 道路 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	BH-1	調査位置	広島県山県郡安芸太田町津浪	北緯	34° 34' 14.2300"
発注機関	広島県山県郡安芸太田町津浪	調査期間	平成30年 7月 9日～平成30年 7月12日	東経	132° 19' 13.3500"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	GH 151.13m	角	180° 上 90° 下 0°	方	102°北 270°西 0°東 180°南
地盤勾配	0° 水平 鉛直 90°	使用機種	試錐機 東邦製D1-B型	エンジン	ヤンマーDF70型
総掘進長	7.00m	度	0°	ポンプ	東邦製BG-3型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名 (楕円)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	室内試験	削孔状況	孔内状況	送水量 (L/min)	排水量 (L/min)		
														深度 - N 値 図	N 値	深 度	打撃 50 回の貫入量								
1	151.13	0.05	表土	黒雲母花崗岩	淡白	w2	h1	B	III	b	CL	岩盤斜面を覆う吹付けモルタル亀裂沿いに分離し、短柱～短棒状コアを主体とする。コア肌新鮮で硬質であり外周を保つ。亀裂角度 (水平基準) は、80～85°。および40～60°の2タイプの角度を主体とする。亀裂面は、酸化により全体的に褐色に変色している。		7/9	50	116	15	180	0	3	3				
2	151.33	2.30	黒雲母花崗岩	黒雲母花崗岩	淡茶灰	w3	h2	C	III	c	DH	亀裂面は、酸化により全体的に褐色に変色している。コアは硬質であるが、亀裂が発達 (密集) しブロック～短柱状コアを主体とする。外周は崩れている。亀裂 (水平基準) は、10～20度の低角度亀裂が存在し、亀裂沿いは非常に脆い岩片を挟む。6L-2.4～2.5m区間は、岩片が砕けている。		7/10	50	66	20	200	0	3	3				
3	151.50	4.30	黒雲母花崗岩	黒雲母花崗岩	淡青灰	w2	h1	B	II	a	OM	亀裂沿いに分離し、短棒状コアを主体とする。コア肌新鮮で、硬質であり外周を保つ。亀裂角度 (水平基準) は、50～60度を主体とする。亀裂面は、新鮮な箇所が多数確認される。		7/10	65	66	30	0	6	6					
4	151.74	7.00	黒雲母花崗岩	黒雲母花崗岩	淡青灰	w2	h1	B	II	a	OM	亀裂沿いに分離し、短棒状コアを主体とする。コア肌新鮮で、硬質であり外周を保つ。亀裂角度 (水平基準) は、50～60度を主体とする。亀裂面は、新鮮な箇所が多数確認される。		7/11	60	66	40	200	0	6	6				
5														7/12	60	66	30	200	0	6	6				

株式会社 荒谷建設コンサルタント